

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

倉敷市に住む元中学校長の男性と保育士の女性が、新型コロナウイルスが広がる世界を舞台にしたオリジナル絵本を作りました。記事を読み、質問に答えましょう。

コロナ禍の世界絵本に

オリジナル絵本を作り、幼稚園や保育園などに寄贈を続ける元中学校長の内田隆志さん(68)＝倉敷市白楽町＝と保育士の川本千代子さん(59)＝同市玉島八島＝が、新型コロナウイルス禍の世界を舞台にした新作を作った。医療従事者が奮闘する姿などを温かみのある絵柄で描き「互いに優しさを持ち、支え合う大切さに気付いてもらえたら」と願う。(吉川瑠美)

倉敷の元中学校長内田さん、保育士川本さん



タイトルは「ランディ コロナ禍の街を巡る夢を見 空を飛ぶ」。主人公の小学生・しゅんくんが、愛犬ランディの背中に乗って夜空を飛びながら、コロナ禍の街を巡る夢を見

てねと呼び掛ける。病院では防護服を着た看護士の母がせわしなく働く様子、介護施設ではコロナの影響で会えなくなっている祖母の姿を目にする。みんなが頑張っていることを知ったしゅんくんは、自分もうがいや手洗い、マスクの着用を続けながら我慢しようと決意する。

医療者の奮闘 温かく表現

新型コロナウイルスの感染収束が見通せない中、昨年夏ごろから構想を練り始め、3月末に完成させた。ランディは2年前に見送った内田さん(左)と川本さん(右)の同名の愛犬をモデルにしたという。絵本は250部作り、市内の図書館や幼児、児童養護施設に加えて、2人が東日本大震災の復興支援活動で訪れた宮城県石巻市と南三陸町の幼保施設にも贈った。

優しい気持ち広がると
うれしいな



12日付、山陽新聞おかくらプラス

Q1 ★★★★★

絵本の中で、主人公の小学生はコロナ禍の街を巡る夢で、どんな場面を見ましたか。その場面を見て、どんなことを決意しましたか。第2段落から読み取りましょう。

Q2 ★★★★★

作者の2人は、どのような気持ちを絵本に込めましたか。第1、5段落を読み、考えましょう。

Q3 ★★★★★

コロナ禍が続く中で、皆さんが頑張っていることは何ですか。周りの人と話し合ってみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。